

平成 25 年 12 月 8 日

ところ会員 各位

ところ会 12 月行事案内

第 11 回テーマ：師走の雑司ヶ谷界隈を歩く

師走の中、池袋界隈の護国寺境内と墓苑、雑司ヶ谷墓地、鬼子母神境内を歩く計画を立案しました。今回は散策を少し早めに切り上げて、所沢にて希望者による納会を予定しています。皆さんの参加をお願いします。

行事参加の有無と、参加の場合は**昼食のメニューの指示**、又**納会の参加の有無**を**12 月 14 日までに連絡**ください。

記

日 時：平成 25 年 12 月 20 日（金）9 時 05 分集合

集合場所：西武線 所沢駅 池袋方面乗り場ホーム後方（小手指より）

※：所沢（急行池袋行）⇒池袋・・・9:15⇒9:35

：池袋（東京地下鉄メトロ有楽町線・新木場行）⇒護国寺・・・9:49⇒9:53

参加費：交通費・昼食費は各自負担、納会は下記の通りです。

■：雨天の場合は納会のみを予定します。

■：昼食の予約の関係で下記のメニューから選んでください。

コース概要：

護国寺駅（9:55）⇒護国寺（10:00～10:35）⇒雑司ヶ谷霊園散策（10:40～11:20）⇒昼食（天山、11:30～12:45）⇒威光山法明寺（12:55～13:15）⇒大鳥神社・鬼子母神堂（13:25～14:15）⇒東京メトロ副都心線・雑司が谷駅（14:43 乗車）⇒所沢駅（15:31 到着）

※：帰り便（参考）

雑司ヶ谷（東京メトロ）⇒練馬・・・14:43⇒14:59

練馬⇒所沢・・・15:05⇒15:31

昼食の場所及びメニュー

■：天ぷら割烹天山 豊島区南池袋 3-18-12（Tel 03-3983-2262）

■：天井（¥700）、上天井（¥1000）、天ぷら定食（¥850）、※上天ぷら定食（¥1000）

※：店主お薦めメニュー

■：メニューの指示がない場合は上天ぷら定食を予約します。

■■納会

■場所・・・さかなや道場

■時間・・・16:00～18:00

■会費・・・¥3,500（飲み放題）

散策地の見どころ

■護国寺：

天和元年（1681）五代将軍徳川綱吉が、生母桂昌院の願いにより創建した祈願寺である。如意輪観音を本尊としている。後には将軍家の武運長久を祈る祈願寺となった。元禄時代の本堂、昭和 3 年に移築された月光殿は、ともに国の重要文化財に指定されている。その他指定文化財も数多い。明治期以降徳川家との関係が絶たれ、一般人の墓所を造成した。三条実美、山県有朋、田中光顕、大隈重信などが眠る。「本堂」国指定 桁行七間、梁間六間、単層、入母座造り銅板本葺元禄 10 年（1967）に建立された観音堂を用途変更して本堂としている。和様、唐様の折衷様式を基調とする寺院建築様式の旧規を示しているものとして貴重な遺構である。

- ・「音羽講中庚申塔」：本堂の裏手には全国でも例を見ない形式の庚申塔があります。天明 5 年（1875）に立てられたこの塔は総高 210cm と規模が大きく、基壇部分、台座、塔部から形作られています。台座は須弥壇形式（仏像を載せる台）と言い、その四面に肉彫り装飾、返花（かえりばな）模様が

施されています。

■雑司ヶ谷霊園

明治政府の自葬禁止（1872（明治5）年6月28日）、神葬地設定（1872（明治5）年7月13日）、火葬禁止（1873（明治6）年7月18日太政官第二百五十三号）、旧朱引内^[1]の埋葬禁止、墓地令（1874（明治7）年6月22日）等の法令・布告・布達にともない共葬墓地の必要が生じ、東京府が東京会議所に命じて雑司ヶ谷旭出町墓地を造営^[2]、1874年（明治7年）9月1日に開設。

1876年（明治9年）に東京会議所から東京府が管理事務を引き継ぎ、1889年（明治22年）に東京市の管轄となったのち、1935年（昭和10年）「雑司ヶ谷霊園」に名称変更。現在は東京都公園協会が管理している。

ジョン万次郎、小泉八雲、夏目漱石、島村抱月、竹久夢二、泉鏡花、東條英機、永井荷風、サトウハチロー、東郷青児、大川橋蔵など著名人の墓が多くあり、夏目漱石の小説『こゝろ』の舞台にもなっている。

■法明寺

遠く江戸時代から桜の名所として知られる参道を抜けると、正面に山門が見えてきます。境内には日蓮聖人をお祀りする祖師堂（安国堂）があります。さらに下縁に曲尺、算盤、枡、天秤などの珍しい紋様が描かれた梵鐘(ぼんしょう)、酒井抱一の朝顔の絵に添えて句が彫られた 薨塚(あさがおづか) などがあります。

さらに奥には威光稲荷堂が、たくさんの赤い鳥居の先に祀られています。当山は嵯峨天皇の代の弘仁元年（西暦810年）、真言宗の旧跡で威光寺として開創されました。『東鑑』第1巻に「武蔵国威光寺者。依為源家数代御祈祷所。院主僧増円相承之僧坊寺領。如元被奉免之」云々とあり、その古い歴史を物語っています。後の正和元年（1312年）、宗祖日蓮聖人のお弟子で中老僧の一人、日源上人が日蓮宗に改宗、威光山法明寺と寺号を改めました。以来、伝灯50世、約700年の歴史を刻んできました。その間、徳川3代将軍・家光公より御朱印を受け、代々将軍家の尊崇を受け、折りごとに多くの寄進を受けています。

■鬼子母神堂（きしもじんどう）：

境内の大公孫樹（おおいちょう）は「子授け銀杏」あるいは「子育て銀杏」とも言われています。イチョウの枝から垂れ下がった気根は、その形から乳根と言われることもあり、鬼子母神信仰とあいまってその名がついたものと思われます。樹齢約700年といわれ、イチョウでは都内2番目の巨樹で、今も樹勢は止まることを知りません。美しい鬼子母尊神が祀られる本殿、妙見堂、金剛不動尊を安置した法不動（のりふどう）堂、元禄12年（1699年）建立の帝釈天王の石像、また寛政3年（1791年）に茶・俳諧をよくした川上不自筆の六万九千三百八十四の一字一石の法華経を納めた一字一石妙経塔なども、ゆっくりとご参拝ください。境内南東には、倉稲魂命（うけみたまのみこと）を祀った古社武芳稲荷があり、今は新築遷座されていますが、古来この地が稲荷の森と称されていた頃の幾百年の名残を伝えています。さらに本堂北側には、山岡鉄舟の雄渾な書体で描かれた碑もあります。

■大鳥神社

池袋の東南方向・雑司が谷の「おとりさま」です。11月には酉の市として「家内安全」を願う参拝者で賑わいます。すぐ近くの鬼子母神堂（子育て・安産の神様）と合わせてお参りすると良いでしょう。初詣の時期には、法明寺の除夜の鐘を聞いてから大鳥神社へ参拝するというルートもあります。

祭神

日本武命（やまとたけるのみこと）、食稲魂命（うかのみたまのみこと）

由緒

この神社はもと鷲明神と称し正徳二年（1712年）鬼子母神境内に創祀せられ、当時千登世橋に近く出雲藩下屋敷で藩主松平公の嫡男が疱瘡にかかった時、鷲明神に祈り治ったので厄病除けの神として尊崇されていましたが、明治維新神仏分離に当り現地に移されました。

以上